

小・中栄養教諭 専門問題例

例1 次の文は、「食育基本法（平成17年 最終改正：平成27年）」の「第一章 総則」の一部である。（ア）～（エ）にあてはまる語句を書きなさい。

（国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成）

第二条 食育は、食に関する適切な（ア）を養い、生涯にわたって健全な（イ）を実現することにより、国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成に資することを旨として、行われなければならない。

（子どもの食育における保護者、教育関係者等の役割）

第五条 食育は、父母その他の保護者にあつては、（ウ）が食育において重要な役割を有していることを（エ）するとともに、子どもの教育、保育等を行う者にあつては、教育、保育等における食育の重要性を十分自覚し、積極的に子どもの食育の推進に関する活動に取り組むこととなるよう、行われなければならない。

例2 次の文は、「食に関する指導の手引－第一次改訂版－」（平成22年3月 文部科学省）の「第1章 学校における食育の推進の必要性」の「5. 学校における食育の推進」の中に書かれている【食に関する指導の目標】である。（ア）～（オ）にあてはまる語句を書きなさい。

- 食事の（ア）、食事の喜び、楽しさを理解する。
- 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら（イ）していく能力を身に付ける。
- 正しい知識・情報に基づいて、食物の（ウ）及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。
- 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。
- 食事のマナーや食事を通じた（エ）を身に付ける。
- 各地域の産物、（オ）や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。

例3 次の文は、小学校学習指導要領と中学校学習指導要領の一部である。(ア)～(カ)にあてはまる語句を、下のA～Jから選び、記号で答えなさい。

(小学校 第2章 各教科 第8節 家庭 第3 指導計画の作成と内容の取扱い)

3(3) 調理に用いる食品については、(ア)の(イ)や(ウ)は扱わないなど、安全・衛生に留意すること。

(中学校 第2章 各教科 第8節 技術・家庭 第2 各分野の目標及び内容〔家庭分野〕)

B(3) イ (エ)の食材を生かすなどの調理を通して、(エ)の食文化について理解すること。
ウ 食生活に(オ)をもち、課題をもって日常食又は(エ)の食材を生かした調理などの活動について工夫し、(カ)を立てて実践できること。

A 関心	B 生	C 計画	D 日本	E 地域
F 意欲	G 魚	H 献立	I 肉	J 全国

例4 「学校給食における食物アレルギー対応指針」(平成27年3月 文部科学省)の内容として、適切なものを、次のA～Fから3つ選び、記号で答えなさい。

- A 特に発症数の多い原因食物(卵・乳・小麦・えび、かに)は、できる限り、1回の給食で複数の料理に同じ原因食物を使用しないように配慮する。
- B アレルギー対応作業を明記した調理指示書、作業工程表、作業動線図は、普通食用のものと別に作る。
- C 食物アレルギーを有する児童生徒には、安全性の確保のため給食提供は困難であり、弁当対応を考慮する。
- D 共同調理場方式の調理場では、受配校との連携を密にして、受け取りの確認を誰がするか等を事前に決めておく。
- E アレルギーの原因食物が入っている料理と、除去した料理は、できるだけ形を似せて作る。
- F 調理後にアレルギーの原因食物の混入や取り違えが起きないように、材料表、調理指示書をもとに誤調理がないか複数の調理員等でダブルチェックする。

小・中学校 栄養 正答例

問題番号		正 答
例 1	(ア)	判断力
	(イ)	食生活
	(ウ)	家庭
	(エ)	認識
例 2	(ア)	重要性
	(イ)	管理
	(ウ)	品質
	(エ)	人間関係形成能力
	(オ)	食文化
例 3	(ア)	B
	(イ)	G
	(ウ)	I
	(エ)	E
	(オ)	A
	(カ)	C
例 4		A
		D
		F